

ではありません

公共事業は悪

日本の国土は陸地面積が世界の0.3%程度にもかかわらず、
マグニチュード6以上の大地震の2割が日本列島の周辺で発生しています

しかも、(欧州諸国と比べると)河川の流れが急で、台風が上陸すると豪雨のために水害が絶えません
地震や水害、土砂災害だけでなく、火山もあれば、豪雪地帯もあります

日本列島は、住民が投資を怠り、安穩と暮らせるほどに「安全な国土」ではありません

だからこそ、過去の日本国民は「将来の日本国民」のために、コンクリート建造物などで自然災害を防止
することを続けてきました。これこそが、日本における公共事業の本質です。

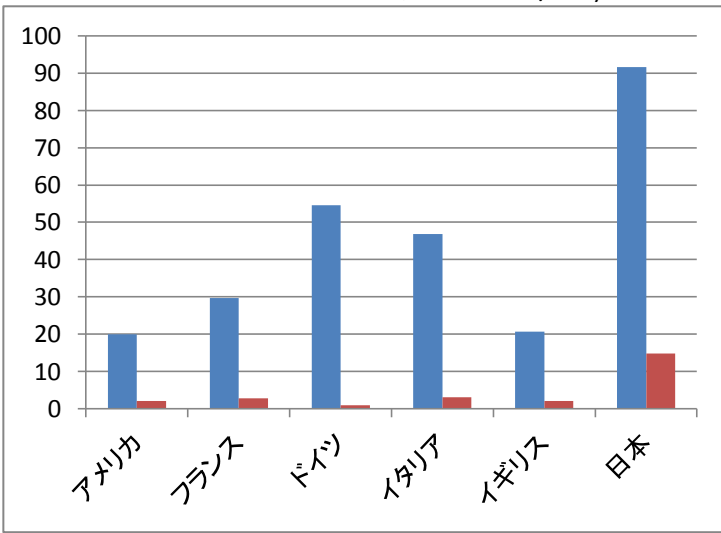
公共事業により建造されたコンクリート・道路は、我が国の**将来世代への贈り物**なのです

◎ デフレ不況の現在、公共事業はGDPを増やして、**デフレを脱却するための有効な手段**
でもあります

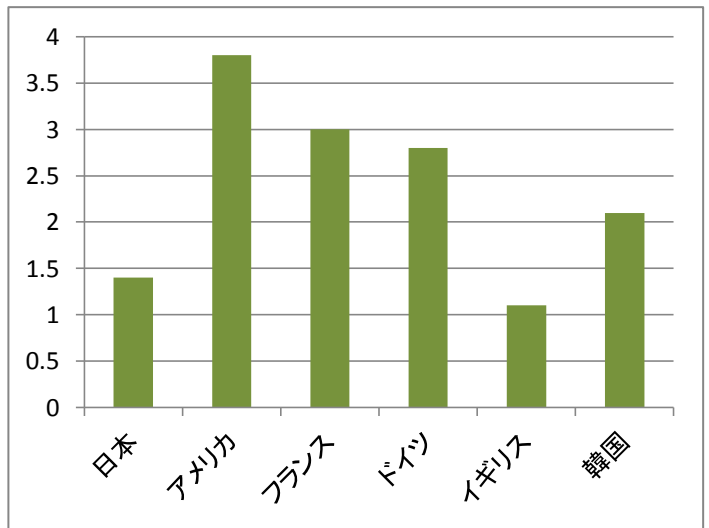
日本の道路は作りすぎ ではありません

■ 可住面積あたりの高速道路延長距離(m/km²)

■ 可住面積あたりの全道路延長距離(km/km²)



■ 自動車1万台あたりの高速道路延長距離(km)



○ **左上**のグラフはマスコミの多くが取り上げたもので、

「**可住面積あたりで見ると、日本は諸外国に比べて道路がこんなに長い**」と報じてきました

しかし、世界でもこのグラフを使っているのは日本だけで、それもごく一部の人だけです

日本はアメリカやフランスに比べて圧倒的に山林が多いため、国土面積における可住面積は3割ぐらいしかありません。

ほかの国は7割を超えています。しかも、道路とは可住地域と別の可住地域をつなぐためのものですので、

可住面積あたりの道路延長距離には何の意味もありません

○ 世界で国家あたりの道路の長さを比較する際には、**右上**のグラフの

「**自動車1万台あたりの高速道路延長距離**」を指標に使用します

道路とは、そもそも自動車を使うためのものだからです

グローバルスタンダードである、この指標を見ると、**日本は先進国中で最低水準**であることが
わかります